



決勝

予選走行後、セッティングを変更し決勝に備える。スタートでトップに立つ自信があったのでスターティンググリッド上で、どこを走って前に出るかを大木パッセンにイメージを伝える。レッドシグナルブラックアウトでスタート！

他車のスタートより明らかにタイミング良くダッシュが決まり！イメージどおり前の2台をパッセンしホールショットを奪う。コースは完全にドライなのでブレーキングもコーナリングもハードに攻めていける。スタート直後からペースを上げてラップを重ねていく。と同時に夏場の暑いレースは激しく体力を消耗していく。予選とは異なるハイペース走行に大木パッセンも頑張っただけで対応してくれている。後続の2番手荒木 / 山中組は二人のコンビも長くこのサーキットも熟知しているの、徐々に差を詰めて迫ってくる。3~4ラップ目になると大木パッセンの動きにタイミングのずれが生じ始める。やはり暑さで体力を消耗し始めたか想定外の箇所で大木パッセンが浮きラインを外す。2位の荒木 / 山中組にパスされ2位に後退するが、直後に着け挽回のチャンスをうかがい、トップを奪いかえす。その後しばらくトップを入れ替えを続けながらのバトルを展開。結果2.28秒差で私たちが優勝。



No. 20



No. 37

予選 正式結果

2008年 9月 7日 岡山国際サーキット 8.749km

順位	車番	ドライバー	チーム名	タイム	順位	差	トップ差
1	66	大木 浩二 / 大木 浩二	Fireplace	1:51.589	115.453	47.0	
2	4	荒木 健太 / 山中 隆	Fireplace	1:52.471	116.523	37.9	0.372
3	2	二階堂 浩 / 大木 浩二	60-3100	1:53.728	118.251	57.9	1.184

クラス区分: 1=F1, 2=F2
予選通過タイム: 0:13.296 / 2:14.258

決勝 正式結果

2008年 9月 7日 岡山国際サーキット 8.749km

順位	車番	ドライバー	チーム名	タイム	順位	差	トップ差
1	2	大木 浩二 / 大木 浩二	60-3100	1:27:46.910	125.148		1:24.434
2	4	荒木 健太 / 山中 隆	Fireplace	1:27:49.205	121.781	2.285	1:24.818
3	66	大木 浩二 / 大木 浩二	60-3100	1:27:51.320	122.916	22.402	1:24.798

クラス区分: 1=F1, 2=F2
予選通過タイム: 0:13.296 / 2:14.258

次回レースは 9/7 富士スピードウェイ 「MCFA/クラブマンロードレース3」です。岡山戦はエントリーが少なく残念でしたが、次回富士に繋がる結果が得られましたので、終盤戦に向け頑張ります。今後ともよろしくお願ひいたします。



岡山国際サーキット主催者側からの要請で、各カテゴリーの代表マシンによるデモラン走行。サイドカーにはレース取材に来た各雑誌記者を乗せて走行しました。

08.7.23 川口オートレースにてマシン展示とラウンドガールを乗せ、選手の先導走行

これは群馬県榛名サーキットで、開催されるレーシングサイドカーF4クラスのレースを主催する、川口オートレース所属の元GPワークスライダー青木治親選手の父君からの企画。オートレーサーが入場する際の先導車としてJRSAからABEZ号とマン島渡辺号が参加。ABEZ号がラウンドガール・渡辺号がレースのラウンドフラッグを掲げてコースイン。レースのインターバル時にはオーバルコースを2台でデモランで周回。通常ではあり得ないシチュエーションは大いに注目を集めました。



川口オートレースラウンドガール・古沢あかねさんを乗せ選手入場の先導車を動機させていただきました。走行の様子はケーブルTVでもライブ放映。走行後はTVインタビューも受け、サイドカーレースをアピール。マシンはライジングサンレーシングのF2マシンと一緒にコースサイドに展示しました。



We love SIDECAR RACE! since 1981

横浜市鶴見区東寺尾 3-6-12 〒230-0077
(有)アクセルワーク内 土屋 芳光
PHONE/FAX:045-573-9380
e-mail:tutiya@bun.ne.jp

